

尾崎放哉

人をそしる心をすて豆の皮むく

犬よちぎれるほど尾をふつつてくれる

咳をしても一人

どつさり春の終りの雪ふり

〈出典 『日本の詩歌 30 俳句集』 (中央公論社、一九七〇年)〉

【著者】尾崎放哉 (おざき ほうさい)

一八八五 (明治一八) 年—一九二六 (大正二五) 年
俳人。鳥取県の生まれ。

【著書】『大空』など